

今こそ『森と緑』 くらしを守る市政を!

5つの
提案

提案1 公立保育所を守ります

今、幼稚園に続き公立保育所まで廃止へ…。公立保育所を存続し、子育て施設を増やします。中学卒業まで医療費助成をひろげ、子育てするなら流山といえるまちをつくりまします。



提案2 働く人の暮らしと権利

つくばエクスプレスの運賃値下げ

「定期代が高い」「つくばエクスプレスの運賃値下げを求めます。職場の悩み解決へ、市に労働相談窓口を設置、野田市に続き、公契約条例を制定するなど、働く人の生活と権利を守ります。」

提案3 国保料を1世帯1万円引き下げ

年収の1割をこえる保険料は、負担の限度を超えています。県平均なみに市の財政支援を増やし、1世帯1万円引き下げます。

国保会計への(ひとり当たり)一般会計独自繰入金額

松戸市	11,589円
柏市	5,939円
流山市	1,212円
全国平均	10,207円
県平均	10,965円

流山市は全国899位、県下30位
(H20年度国民健康保険事業状況報告書より作成)

提案4 特養ホームの待機者ゼロへ

待機者が561人…。介護不安をなくすため、特養ホームを増やします。「医療費が高い」「高い利用料が必要な介護が受けられない」「医療費の窓口負担を軽減し、介護利用料の減免を実現します。」

提案5 安心して住み続けられるまちを

オオタカのすむ森と緑は市民の宝。これ以上の伐採にストップをかけます。高齢化で「買物難民」問題が急浮上。バス交通など市民の足確保に全力で取り組みます。

官公需の地元発注を高め、商店街の活性化や地産地消など地域内循環を促進します。



巨大開発のムダ使い正して 市民の願いを実現へ

10年で新線沿線開発につき込まれた事業費は1044億円。今後、土地が売れなければ大赤字に、ツケは市民に回されます。時代遅れの大型開発を見直し、市民の願い実現の財源を確保します。

オオタカも里山も守り、 森と緑のまちを

思井地域の4畝の里山にオオタカの営巣が確認されました。ところが、この地域は、つくばエクスプレス沿線開発で伐採しようとしています。日本共産党は、生物多様性、地球温暖化問題が叫ばれている時だからこそ、樹木を伐採せずオオタカの営巣・エサ場を守るよう強く要求しています。



千葉県に確認すると、流山市は保全の要求をしていないことが明らかになりました。これでは、『おおたかの森』の名称や『都心から一番近い森の街』が看板倒れではないでしょうか。

開発優先・負担増押し付けのH21年度決算

日本共産党除くオール与党が賛成

特別会計も含めれば690億円の平成21年度決算。市民の暮らしを守るため税金がどう使われたのかが問われました。しかし、開発優先、市民生活置き去りは相変わらず。国保料が引き上げられ、市営住宅募集は前年の半分、市単独の高齢者福祉費(1人あたり)は前市長時代の3分の1です。一方で沿線開発には特別会計も含め約50億円、分譲地の売り出しでの、秋葉原駅のポスター広告に900万円を支出。流山市ですすむ自治体の「開発会社化」「営利企業化」を、自民保守派、民主公明などオール与党が支えています。



900万円の秋葉原駅大型ポスター

市民の目線で市政をチェック

日本共産党の4議席



市議会議員
いぬい紳一郎



市議会議員
高野 とも



市議会議員
小田桐たかし



市議会議員
徳増きよ子



第40回赤旗まつり(東京・夢の島)に、流山市から4台のバスで参加。市議団と参加者が交流を深めました。

「市立江戸川台幼稚園は公設公営で建て替える」と市長が認めました。引き続き現在の形で耐震の建物へ

市立幼稚園全廃計画をストップ！ 江戸川台幼稚園は存続へ

と生まれ変わります。

「ここに至るまでには、市長が5年前に「役割が終わった」と市立幼稚園の全廃

公立名都借・長崎保育所を 守り発展を

公立名都借・長崎保育所の老朽化を理由に廃止しようとしています。公立保育所は、歴史的にも子どもの保育と親の就労に重要な役割を果たしており、待機児童が増えている中、廃止すべきではありません。「公立保育所の建替えに国の補助がない」と市長は言いますが、共産党の追及で国からの補助が出るのが確認されており、子どもを大切にすることが基本姿勢が問われているのです。廃止するかどうかは議会の決定です。一緒に署名運動をすすめてみましょう。

いつせい地方選挙まで半年となった9月議会。市長は「行政コスト全国最小」「県下一職員が少ない」と誇っています。しかしその実態は、市民に密着した福祉・教育の職員を減らし、自治体の「開発会社化」をすすめています。日本共産党は、「自治体の役割を発揮し、市民の暮らしを守る市政を」と主張、奮闘しました。



子どもを泣かせない市政のためがんばります。

特養ホーム増設を約束。 さらに待機者ゼロへ

流山市の待機者は561名になっています。介護保険によって介護の負担が軽減されると期待されました。ところが、期待に反して介護不安の声はあとをたちません。『介護殺人』までおこっています。下表のように、流山市は全国最下位の千葉県平均にもおよびません。整備を急ぎました。

日本共産党はこの事実を突き付け、「待機者をゼロにする計画を」と迫り、「建設中の施設(百床)に続き、同規模かそれ以上を整備す

学校の地デジTVは 市内事業者へ発注実現 地域経済の活性化へ、本腰を

「市内事業者が元気になれば地元雇用も広がる。話せて確信になった」「党派に関係なく、いい懇談が出来た」一党市議団と懇談した市内各団体役員の方の感想です。

今の経済不況を背景に、市内商工業者も農家も深刻な実態が広がっています。党市議団は、経済の地域内循環を提案し、米飯給食への100%市内産米使用や商店街街灯への全額補助、地デジTVの学校導入は全て市内事業者へ発注させるなどにつながっています。地域経済の活性化へ、力を合わせて、取り組みましょう。

透析患者の負担は大変 福祉タクシー券の拡充を

「運転できなくなったらタクシーを使っしかない」週3回、毎回5時間かけて透析治療を受けている患者さんにとって、福祉タクシー券は「命綱」です。松戸市は年240枚、柏市は年210枚ですが、流山市はわずか96枚。せめて透

析患者には拡充をと、社会保障推進流山市協議会は要求しています。現在タクシー券を利用している透析患者は30名。わずかな予算で通院をカバーできるのに、当局は拡充を拒否しています。



特別養護老人ホーム 整備状況

65歳以上(千人)当たりの定員数	
全国平均	15.5人
県平均	12.7人
	(全国47位)
流山市	12.4人

身近な要求実現

県道柏・流山線
来年度から路面改修実施
いぬい紳一郎



東深井中学校の
耐震化実現
高野 とも



小山小学校前に
バス停設置
小田桐たかし



向小金・前ヶ崎も
ぐりーんバス実現
徳増きよ子

